

一般

今度はわたしが助けてあげる

六十代の母が、膝の手術のため一か月ほど入院した。小二の娘はおばあちゃん子だったので、入院中は大変寂しがっていた。私は、未婚で何かと親に迷惑をかけた。私、世話になったりする機会が多かった。そのため、娘は特に祖母である母になついていた。母の退院後、こちらが何も言わなくても「ばあば、どっこい。」と手をさしのべて一緒に歩く姿を見て、色々あって悩んだ時期もあつたけど、「子どもを生んでよかつたな。」と思つた瞬間だつた。



一般

優しい風景

仕事の帰り道、ふと立ち寄ったコンビニで、入店しようとしてドアに近づいた時、中から出てきた女性がドアを開けて「どうぞ。」と声を掛けてくれた。そればかりか、私が店に入るまでドアを持って待っていてくれた。「ありがとうございます。」とお礼を言うと、女性は、会釈して店を後にされた。マスクで表情は見えなかったが、優しい眼差しが心に染みだ。コロナ禍で人と人との繋がりを失っている今、コンビニでほんのわずかな時間だったが、人を思いやる温かい心遣いが、殺伐した私の心の扉を開いてくれた。買い物を済ませ、家路につく車内から見ると、あふれた景色が、今日は、優しさに包まれ、心地よく映った。「明日も頑張ろう。」と元気が出た。

